

科目名	基礎デザイン実習B						年度	2025	
英語科目名	Basic Design Practice B						学期	前期	
学科・学年	デザイン科 インテリアデザイン専攻 1年次	必/選	必	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	永岡真依	教員の実務経験		有	実務経験の職種		クラフト作家		

【科目の目的】

「立体造形の基礎知識と表現力」と「デザインの分野で活躍するためのスキルの育成」を明確に伝えるスキルや手を動かすことを目的に様々な素材に触れて知識を身につける。

【科目の概要】

- ・ 立体の種類や特徴、構成要素、表現方法などの基礎知識
 - ・ 自分の考えやアイデアを立体的に表現する力
 - ・ 立体造形の美しさを追求する力
- 「立体造形の基礎の学習」と「デザインの分野で活躍するためのスキルの育成」を明確に伝えることができる

【到達目標】

- 技術力/画材、支持体の特性を理解し、制作にあたって素材の工夫やアイデアの再現ができる
- 表現力/課題条件に合わせた立体造形の表現ができるようになる
- 知識力/立体構造や素材についての理解
- 遂行力/制作時間と提出期日を考えてスケジュール管理と課題提出ができるようになる
- 社会性/主体的に授業参加をして、自分の作品を言語化し人に説明するコミュニケーション力を身につける

【授業の注意点】

道具の使い方、素材の扱い方に注意し怪我をしないようにする。制作内容により作業着、作業用具、各種材料が必要になる。やむを得ず欠席した場合、すぐに担当教員か補助員に相談し授業の流れに遅れないよう注意すること。授業時限数の3/4以上出席しない者、未提出課題がある者は不合格とする。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	素材を理解した上の制作の仕方や構造を理解し表現を丁寧にしている	素材を理解した上の制作の仕方や構造を理解し制作している	素材の工夫が必要と考えアイデアを立体表現している	素材の工夫が必要と考えているが、形として不十分	制作工程や素材の理解が不足している
到達目標 B	課題条件を考え表現内容を工夫し、素材を活かした制作をしている	課題条件に合わせた表現内容を工夫し、丁寧に制作している	課題条件に合わせた表現内容を工夫し、制作している	課題条件に合わせた表現内容を制作しているが、形になっていない	課題条件に合わせた表現内容についての理解が不足している
到達目標 C	立体構造や素材を理解し、描画材を活かして丁寧に制作している	立体構造や素材を理解し、丁寧に制作している	立体構造や素材を理解して、制作をしている	立体構造や素材を理解はしているが、制作への反映が不足している	立体構造や素材を理解と、制作への反映が不足している
到達目標 D	制作時間を考えて内容を工夫し、スケジュール管理と課題提出ができる	制作時間と提出期日を考慮してスケジュール管理と課題提出ができる	提出期日を考慮して締め切りに合わせて課題提出ができる	提出期日を考慮して締め切りに合わせて課題提出ができない時がある	提出期日を考慮して締め切りに合わせて課題提出ができない
到達目標 E	主体的に授業参加し、自分の作品を言語化して丁寧に説明できる	休まず授業参加し、自分の作品を言語化して説明することができる	自分の作品を言語化して説明することができる	自分の作品を言語化して説明することができない時がある	自分の作品を言語化して説明することができない

【教科書】

課題ごとに資料を用意する

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

課題80% 提出された課題を総合的に評価する
平常点20% 授業態度によって評価する

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		基礎デザイン実習B			年度	2025
英語表記		Basic Design Practice B			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	チョークの彫刻	課題の理解とチョークとカッターを使用しアイデアを形にできる	1 ガイダンス	課題について理解をしている	2	
			2 カッターの使い方	カッターの使用を理解している		
			3 素材の扱い方	繊細な素材の扱い方を理解している		
2	チョークの彫刻	制作の意図や造形の発表	1 本番制作	丁寧に仕上げることができる	2	
			2 プレゼンテーション	作品を説明することができる		
			3 作品提出	作品を提出することができる		
3	バルサで立方体	課題の理解と素材の理解とグループワークでの作業工程の理解する	1 グループワーク	作業を分担することができる	2	
			2 素材の理解	木材の切り方について理解している		
			3 作品提出	作品を提出することができる		
4	紙の立体造形	課題の理解とコピー用紙を使って試作を行いデザイン提案を行い手を動かすことができる	1 課題説明	課題内容を理解している	2	
			2 素材の理解	紙の切り方や折り方 でのような動きをするか理解している		
			3 試作制作	アイデアを形にできる		
5	紙の立体造形	ケント紙で本番制作を行い紙でも素材の違いを理解する	1 本番制作	丁寧に仕上げることができる	2	
6	紙の立体造形	制作の意図や造形の発表	1 プレゼンテーション	作品を説明できる	2	
			2 作品提出	作品を提出することができる		
7	連続の形態	課題の理解とスタイロフォーム/工作紙を使用しアイデアを形にできる	1 課題説明	課題内容を理解している	2	
			2 素材の理解	試作で使う素材を理解している(スタイロ / 工作紙)		
			3 試作制作	アイデアを形にできる		
8	連続の形態	スチレンボード/イラストボードを使用し本番の制作を行い素材を理解する	1 本番制作	本番で使用する素材を理解している(スチレンボード)	2	
			2 仕上げ	丁寧に仕上げることができる		
9	連続の形態	制作の意図や造形の発表	1 プレゼンテーション	作品を説明することができる	2	
			2 作品提出	作品を提出することができる		
10	空間造形	課題の理解と空間をアイデアスケッチで提案行う	1 課題説明	課題内容を理解している	2	
			2 デザインスケッチ	アイデアスケッチができる		
			3 素材の理解	スチレンボードの加工方法の理解ができる		
11	空間造形	空間をアイデアスケッチで提案と制作するうえで素材検討を行う	1 デザインスケッチ	アイデアスケッチができる	2	
			2 素材の提案	使用する素材の検討を行う		
12	空間造形	空間をアイデアスケッチで提案と制作するうえで素材検討を行う	1 デザインスケッチ	アイデアスケッチができる	2	
			2 素材の提案	使用する素材の検討を行う		
13	空間造形	アイデアを立体に制作し様々な素材に触れる	1 素材の提案	使用する素材の検討を行う	2	
			2 本番制作	平面のアイデアを立体表現ができる 丁寧に仕上げることができる		
14	空間造形	アイデアを立体に制作し様々な素材に触れる	1 本番制作	平面のアイデアを立体表現ができる	2	
				丁寧に仕上げることができる		
15	空間造形	制作の意図や造形の発表	1 プレゼンテーション	作品を説明することができる	2	
			2 作品提出	作品を提出することができる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかつた、D：まったくできなかつた

備考 等